

泉佐野市消防団 活動報告

猛暑の中、全団員が集結し合同訓練実施！ — 山林火災に備えて、遠距離中継送水訓練等実施 —

と き 平成23年8月7日（日） 9時00分から12時00分

泉佐野市消防団（田倉 敬二団長）では、市内に配置の五分団（日根野、長滝、上之郷、南中、大土の各分団）に属する団員130人が泉佐野市上之郷の山間部に位置する灌漑用ため池、新滝の池に集結し、合同訓練を実施しました。

この訓練は、山間部を主に管轄区域とする各分団は自然水利を活用する機会が多く、特に林野火災では数少ないため池を有効に活用し、消火活動を行わなければならない、また、各分団を統括する分団長の指揮系統及び分団間の情報の共有が重要であることから実施したものです。

この日は、水面までの距離が約8mという悪条件の中、各消防ポンプ車が揚水訓練を行い、その各分団の車両を概ね100m間隔で配置し、元ポンプから順次、中継送水を繰り返し、500m先の筒先から放水を行ったものです。

各分団長からは、若い団員に対し、ホース延長動作等で厳しい指摘がなされ、また、中継送水訓練では、分団長間の情報伝達が矢次早になされ、一瞬猛暑を忘れさせる緊迫した訓練となりました。

訓練終了後、田倉敬二団長から「動作一つひとつを更に的確に行い日々の活動に活かされたい。」と講評がなされ、団員全員が一丸となり郷土防災にかける意気込みが示され有意義な内に終了しました。



訓練の模様